

科目名	授業時数	教科書名	副教材
中学1年 技術・家庭 【技術分野】	1	技術・家庭【技術分野】（東京書籍）	木工教材

## 1. 授業のねらい

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成および情報に関する基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

## 2. 授業のすすめ方

1. 技術を学ぶ目的や技術室の使い方， Computer garden の使い方についてのガイダンス
2. 材料と加工の技術
  - (ア) 材料と加工法について学習した内容を，小テスト等で定着の確認
  - (イ) 製作品の設計・製作
3. コンピュータを利用したマルチメディアの活用について
  - (ア) 多様なメディアの特徴と利用方法を知り複合させ，デジタル作品の設計・製作
  - (イ) ICT 機器(PC・タブレット端末)を利用した作品の記録や作品紹介の手法を学習，活用
4. 情報通信ネットワークと情報モラルの内容を，小テスト等で定着の確認

## 3. 学習上の留意点

1. 授業中は授業担当者の指示に従い，指示が必ず通るようにしておくこと（理解できなかった説明をそのままにせず，その場ですぐに確認すること）。
2. 授業中は事故防止の為以下の行為は禁止する。
  - (ア) 授業担当者の指示の妨害（作業説明中の私語），実習室で走る，ふざける
  - (イ) 実習中，実習外での工具・PC等の無断使用や無断借用
  - (ウ)（担当教員が指示した場合）固定されていない頭髪（長髪），作業上危険な服装
3. 週の時間数が少ないので忘れ物はしないこと（忘れた場合は授業時間前に報告）。
4. 提出物は提出期限内に提出すること（報告・連絡・相談を密に行うこと）。
5. 実習中に実習に関連したコミュニケーション（アドバイスや検査など）を積極的に生徒間，生徒・授業担当者間で行うこと。
6. 担当教員の許可を得ない授業の録音・録画，写真の撮影は認めない。
7. ID・パスワードを忘れない事（特に NUmil のアカウント情報は適切に管理し，写真等を自宅で撮ってバックアップした上で確実に残るようにする事）。

8. 授業を欠席・公欠した場合は授業内容を次回の授業前までに確認し、必要であれば授業担当者の指示を仰ぐこと（進度によっては補習が必要になるため）。

#### 4. 副教材

木工教材（山崎教育システム株式会社）

#### 5. 評価の視点・課題等

- ① 技術分野と家庭分野のすべての評価を合算し、各学期末に平常点を加味して100点満点で通知します。技術科のみの成績は出ません。
- ② 年度末に各学期の評価から学年成績（評定）を5段階評定で算出します。その他に、「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つによる観点別評価をそれぞれA、B、Cの3段階により評価します。これらも技術分野と家庭分野で合算して出されます。
- ③ 技術科の評価は以下の項目で評価します（課題に関してはルーブリックを参照）。
  - 授業中の態度（出席・忘れ物の有無など含む）
  - 作品・課題等の提出物
  - 小テスト（オンライン含む）

#### 6. 定期考査

実施しない。

#### 7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	<u>技術分野のガイダンス</u>	課題（web ベース）	実習室使用について理解できる。
	5	<u>4 編 情報の技術</u> 情報の技術の原理・法則と仕組み	小テスト	内容を理解できる。
	6	<u>1 編 材料と加工の技術</u> 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	設計図の作成	問題解決ができる木工製品の設計が出来る。
	7	材料の加工の技術による問題解決		

二 学 期	9	<b>1編 材料と加工の技術</b> 材料の加工の技術による問題解決	小テスト	内容を理解できる。
	10	社会の発展と材料と加工の技術	木材加工	工具を目的に合わせて安全に使いこなし、正確に加工することができる。
	11		・設計 ・けがき ・切削 ・接合	
	12		ICT 機器を用いた活動	ICT 機器(iPad)を活用し記録をとることができる。
	1		・製作過程記録	
	2		・作品紹介	
3				
		(通年) <b>2編 生物育成の技術</b> 生物育成の技術の原理・法則と仕組み  <b>4編 情報の技術</b> 情報の技術の原理・法則と仕組み	小テスト  テーマに基づき作品（ファイル）を仕上げ提出・発表させる  ※忘れ物・授業態度等は、平常点とする。	内容を理解できる。  ソフトを活用し、相手に対して分かりやすいシートの作成ができる。  ※木工製作と情報の授業は進度等によって適宜入れ替える。

※他教科との連携や授業進度，生徒の理解度によって内容の変更・省略をする場合がある。